

# 平成23年度 事業報告書

大慈保育園

## 1. 《法人ヴィジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

## 2. 《基本方針》

- ①安全を第一に考え、子どもが楽しく生活できるよう工夫する。
- ②職員の資質向上のため職場内研修を行い、外部研修にも参加する。

## 3. 《目標》

- ①園舎が新しくなるので、子どもや保護者が安心できるよう配慮する。  
→保護者とゆとりをもって話をするよう配慮した。  
子どもが安心できるよう、やさしく寄り添って保育をした。
- ②地域施設との交流を深め、地域に根付く保育園を目指す。  
→デイサービスセンター真愛や盲学校、近隣保育所、地域の中学校との交流を定期的に行った。
- ③新園舎で保育が始まることを、一般の方々に知っていただく。  
→ホームページやポスターの活用、及び、園庭開放や子育て応援事業時に見学を行った。

## 4. 《保育環境整備》

- ・「AED」を設置した。
- ・園庭において予期せぬ危険が発生したため、急遽花壇を作った。
- ・建具などの微調整を行った。

## 5. 《職員研修》

- ・職員の資質向上のため、職員会議毎に研修・伝達講習を行った。
- ・月1回元神戸市私立保育園連盟指導保育士大石静恵氏により保育研修を行った。
- ・6月16日、兵庫保育園と合同で「心肺蘇生、AED研修」を行った。
- ・9月14日、兵庫保育園と合同で杉本洋子氏による「保育課程研修」を行った。
- ・11月23日、兵庫保育園と合同で、午前中は出口社会保険労務士による「就業規則研修」  
午後は岩澤秀章氏による「幼児体育研修」の職員一日研修を行った。

## 6. 《広報》

- ・保護者に、職員紹介ニュースを発行し職員との交流を深めた。
- ・本園ホームページの更新を行った。
- ・園庭開放のポスターを病院などに掲示していただいた。
- ・地域の施設・学校・関係者に園だよりなどを配布した。

## 7. 《育児支援》

お誕生日会・園庭開放・子育て応援事業時に育児相談や健康相談を行った。

8. 《災害・防犯避難訓練》

- ・毎月1回 避難訓練を行った。
- ・毎月1回 防犯避難訓練を行った。
- ・3月に兵庫ポンプ株式会社により消火器・火災報知機・消防署ホットラインの点検を行った。

9. 《会議》

- ・月1回、職員会議・給食会議を行った。
- ・月1回、リーダー会議を行った。
- ・5月、3月 運営会議を行った。

10. 《健康診断・衛生》

内 容	実地日 (回数)	業者等
健康診断	4月・11月	浪方医院
眼科健診	6月・2月	向井・曾谷眼科医院
歯科健診	6月・2月	郷田歯科医院
耳鼻科健診	6月・2月	野村耳鼻科医院
ぎょう虫検査	6月	兵庫県予防医学協会
尿検査	6月	兵庫県予防医学協会
調理室の消毒	毎月 (1回以上)	サニックス株式会社

11. 《行事内容》

月	行事名
4月	入園式 竣工式 交番訪問
5月	遠足 クラス懇談会 お楽しみ会 川重進水式参加
6月	お楽しみ会
7月	七夕祭り プール遊び
8月	プール遊び 地蔵盆 1日スイミングスクール
9月	デイサービスセンター交流
10月	運動会 お泊り保育 遠足
11月	作品展 兵庫保育園交流 お楽しみ会 保育参観ウィーク
12月	音楽会 クリスマス会 おもちつき デイサービスセンター交流
1月	お楽しみ会 よいこの集い 六甲山スキー遠足 デイサービスセンター交流
2月	豆まき
3月	生活発表会 お別れ遠足 お別れ会 卒園式 兵庫保育園・古湊保育所交流

12. 《月間行事》

行事名	
ECC英語教室3歳児クラス (月1回)	盲学校交流 (概ね週1回)
ECC英語教室4・5歳児クラス (月2回)	育児講座 (月1回)
お誕生日会 (月1回)	

13. 《平成22年度在籍児一覧表》

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	6	23	26	34	33	26	148	114%
5月	10	24	27	34	33	26	154	118%
6月	11	25	27	34	33	26	156	120%
7月	11	25	27	34	33	26	156	120%
8月	11	25	27	34	33	26	156	120%
9月	11	25	27	34	33	26	156	120%
10月	11	25	27	34	33	26	156	120%
11月	11	25	27	33	32	26	154	118%
12月	11	25	26	33	32	26	153	118%
1月	11	25	28	32	32	26	154	118%
2月	13	25	28	32	32	26	156	120%
3月	13	25	28	32	32	26	156	120%
合計	130	297	325	400	391	312	1855	119%

14. <<リスクマネジメント報告>>

※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

①出件数：812件（事故23件、ドキドキ586件、処置203件）

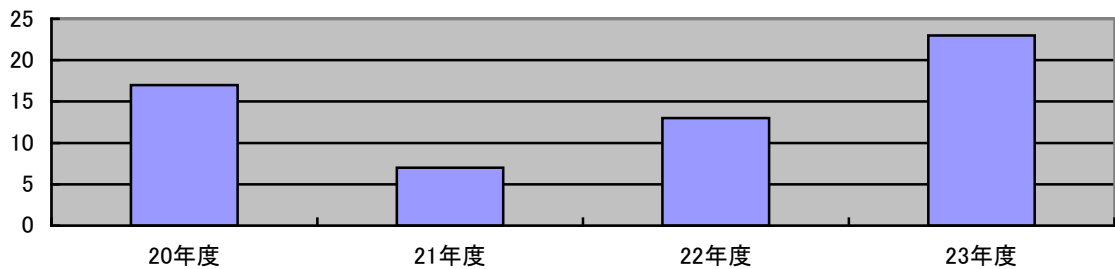
22年度442件（事故13件、ドキドキ429件）

21年度398件（事故7件、ドキドキ391件）

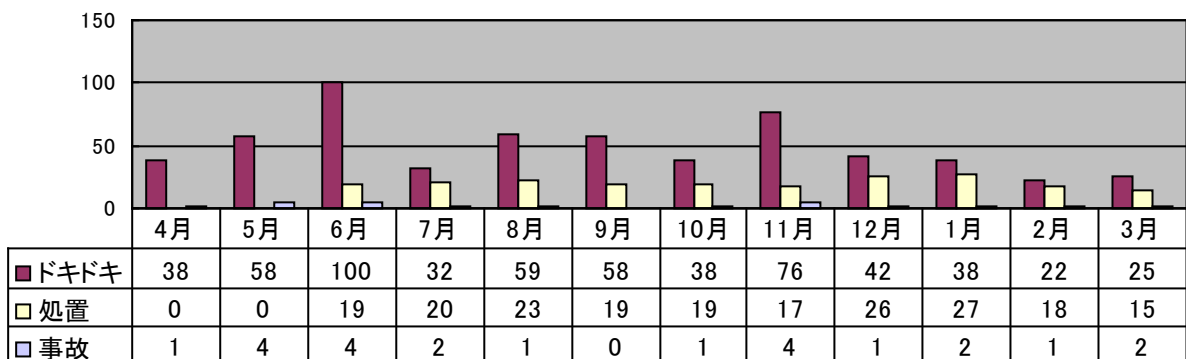
20年度265件（事故17件、ドキドキ248件）

→6月にドキドキが多いのは、保育室での保育時間が長いためだと考えられる。11月にドキドキが多いのは、活動が活発になったためだと考えられる。処置報告は、6月より開始した。

年度別事故件数

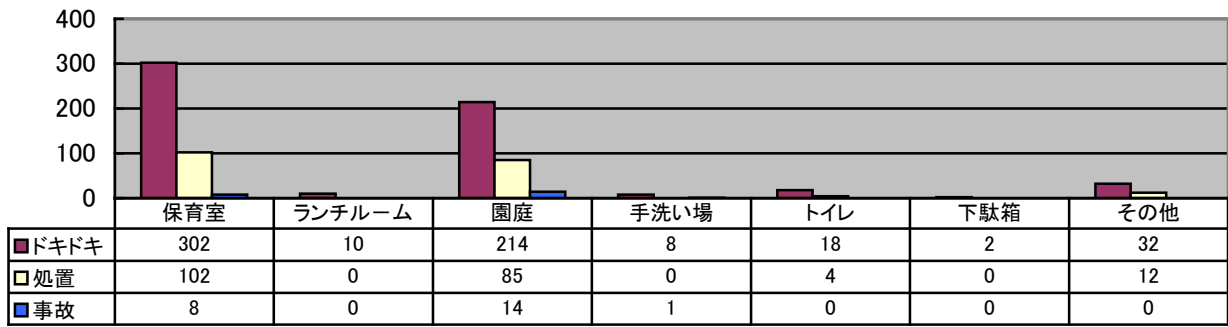


23年度月別推移



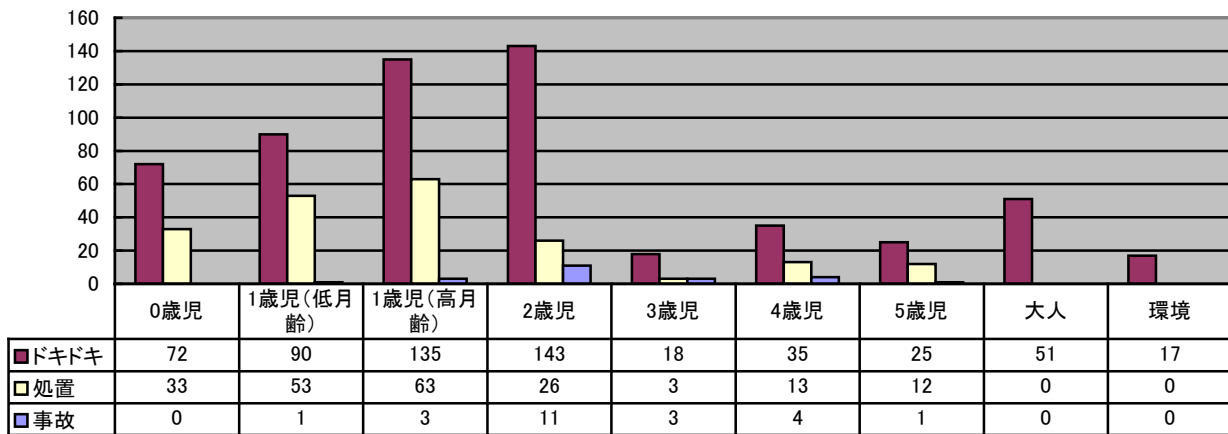
②発生場所別件数

→子どもが長い時間過ごす場所が目立っている。



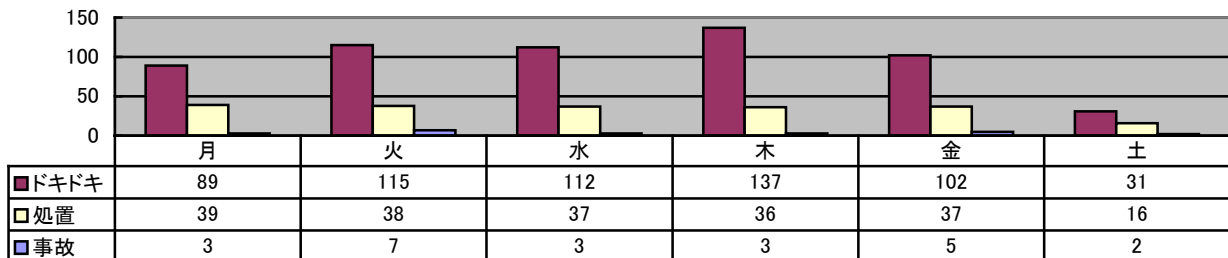
③発生クラス別件数

→1歳児、2歳児が多いのは、自我の芽生え、身体的発達による活動の活発さが関係していると考ええる。



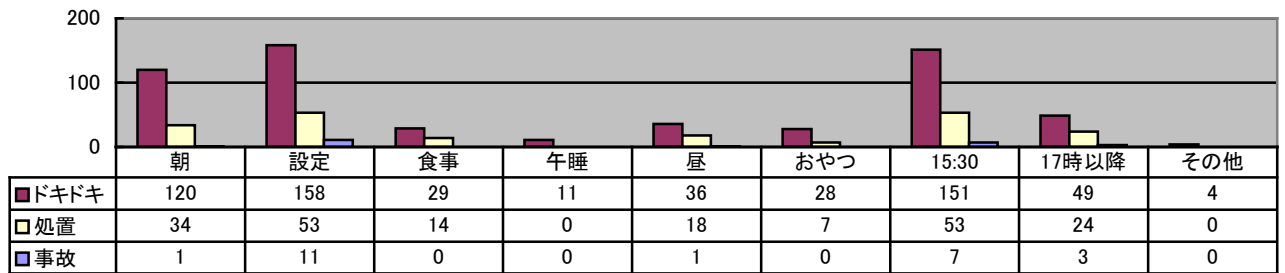
④曜日別件数

→月曜日が少ないのは、週はじめで疲れが少ないためだと考える。土曜日は、登園児が少ないためである。



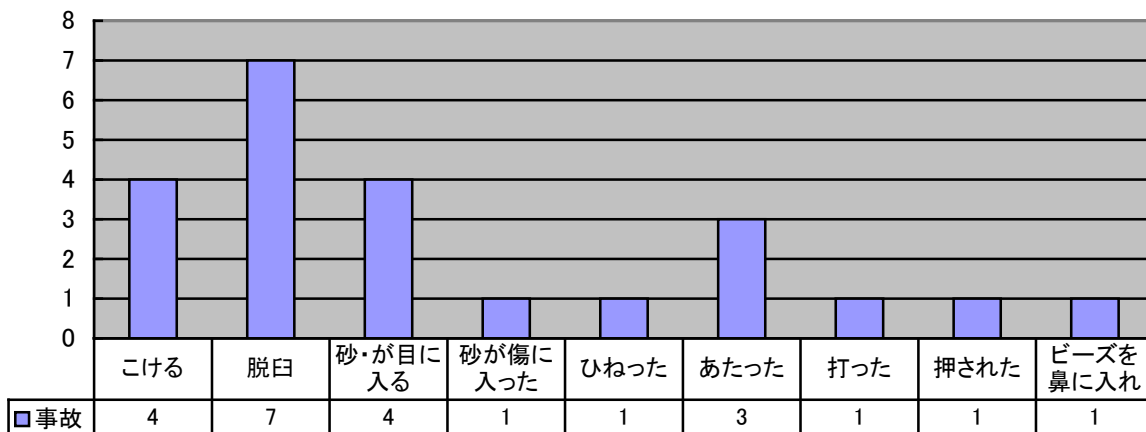
⑤時間帯別件数

→設定保育中は、活動が活発であったり種類が増える為であると思われる。園庭での遊びもやはり危険が多い。



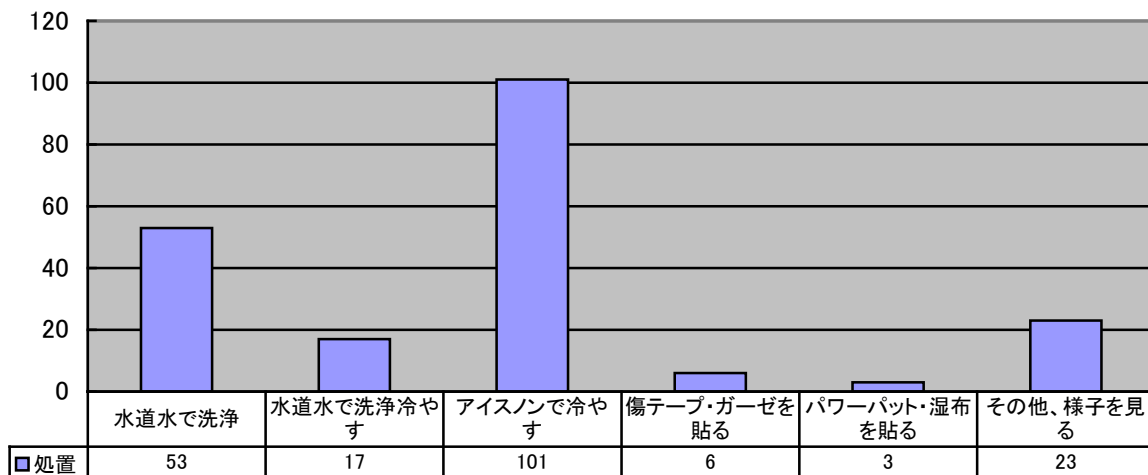
### ⑥事故発生内容

→2歳児に脱臼しやすい女児がいた。職員は配慮し対応していたが、子ども同士の関わりの中で起こった。



### ⑦処置内容

→0歳児、1歳児が転倒して打ったなど、冷やすことが多かった



### ⑧まとめ

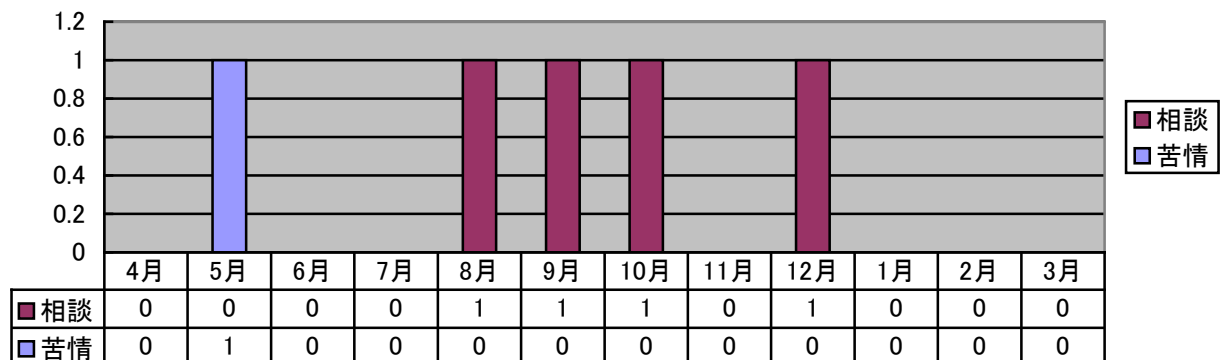
→2,3歳児の子ども同士の関わりで脱臼が7件もあった。0歳児、1歳児の転倒が多く、アイスノンで冷やすことが主であった。1歳児高月齢、2歳児は子ども同士の関わりが深くなる年齢であるので、注意してみていく必要がある。また、今まで以上に運動遊びを強化して身

体能力の向上を図っていかなければならない。

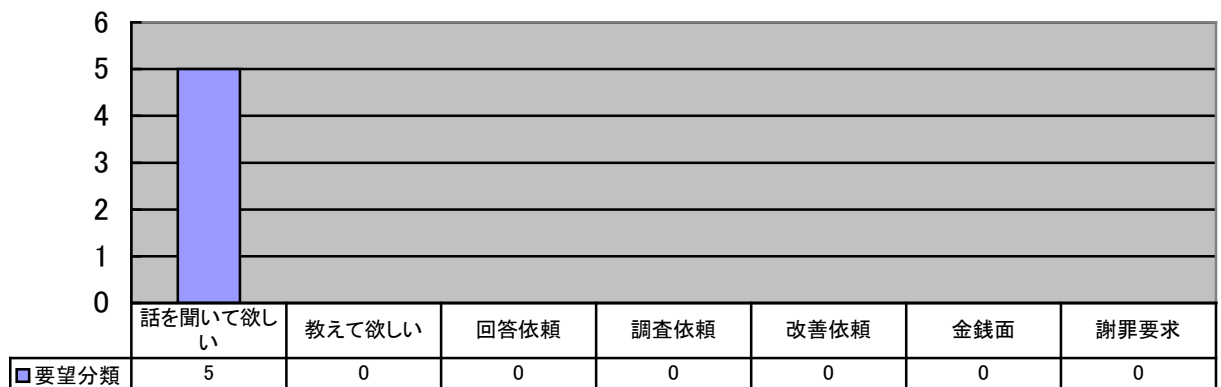
15. ≪苦情・相談結果報告≫

苦情の定義→園長が直接対応した件を苦情とする。

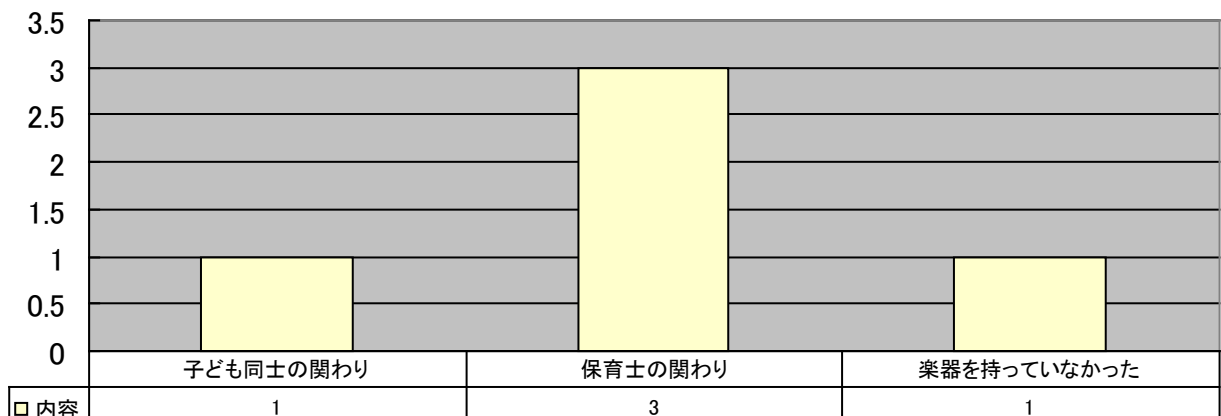
○報告件数・・・ 5件（内苦情1件）



要望分類



主な内容



○まとめ

→保護者の話には耳を傾け、ゆっくり関わることで信頼関係が深くなった。朝夕、保護者とゆっくり話ができるよう、また、乳児が多くなったことに伴って、パート保育士、シルバー人材センター（びよびよ隊）などの活用により、担任が余裕をもって子どもに関わったり、保護

者と話しができた。今後もたくさん話ができるようみんなで工夫していきたい。

## 16. <<総括>>

新園舎での保育がスタートし、快適に生活できる喜びを感じながら1年を過ごした。「心がだいじ 言葉がだいじ」の保育モットーをもとに、一人ひとりを大切に保育することが職員全員に浸透した。その結果、子どもが落ち着いて生活し、保護者からも信頼を得て保育園と家庭とで、力を合わせて子どもを育てることができるようになったと感じている。ルールを守りながらのリフレッシュ保育も定着しつつある。

年度途中で園長が替わるという保育園にとっても、子どもや保護者にとっても大きな出来事があったが、全くトラブルもなく、反対に保護者から励まされたり、温かい心・言葉をいただいた。保育園が皆様に支えられていることを実感し、感謝している。命の大切さ、尊さを充分伝え、子どもにとっても実感できた年であった。

年度末に実施しているアンケートでも、「子どもが喜んで通っている」「生き生きしている」「安心している」など、嬉しい回答がほとんどであった。

デイサービスセンター真愛との交流も10年以上になり、世代間交流も地域に根付いた。

盲学校幼稚部との交流も週1回定期的に行われ、児童にとってもとてもいい経験になると盲学校からも喜ばれた。

今後も感謝の気持ちを忘れず、子どもを第一に考え、保護者に寄り添って保育を行い、職員全員が「保育園の社会的役割」を熟知し、自覚と責任をもって子どもを大切に育てていくよう努めたい。また、保育ヴィジョンである「いい保育を行い、知っていただく努力をする」を基に、地域における子育ての拠点になることを目指して、「人の和」を大事にしていきたい。